

平成26年度学術情報リテラシー教育
担当者研修 グループ討議成果物

リテラシーマップ

学生が自分の状況を把握するための
見取り図

テーマ：f 方法・手段 / 9班

発表日：2014/11/28

会場：国立情報学研究所

問題点

■学生がガイダンスに興味を持たない・・・

□自分がいま何ができるのかが分かりにくい。
→**現在地**が分からない。

□そのスキルを何のために学んでいるのかが
分かりにくい。→**目的地**が分からない。

そうだ、マップをつくらう！！

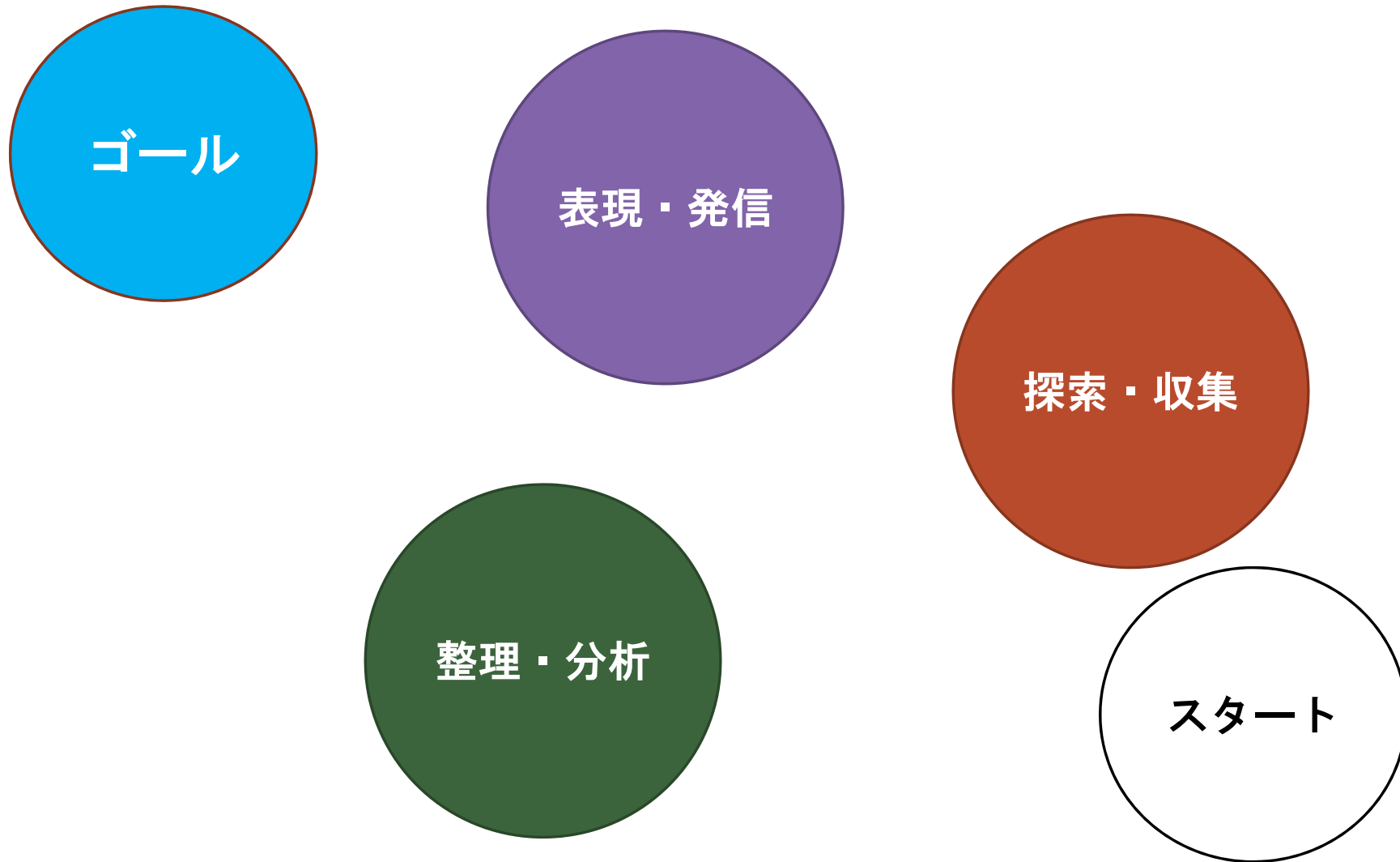
情報リテラシー能力を大きく三つ に分類

情報リテラシーとは、「図書館（資料）」だけでなく、広く「情報」に関わる能力であり、また、情報の「探索・収集」だけでなく、「整理・分析」や「表現・発信」をめぐる知識・技能などがふくまれるのである。

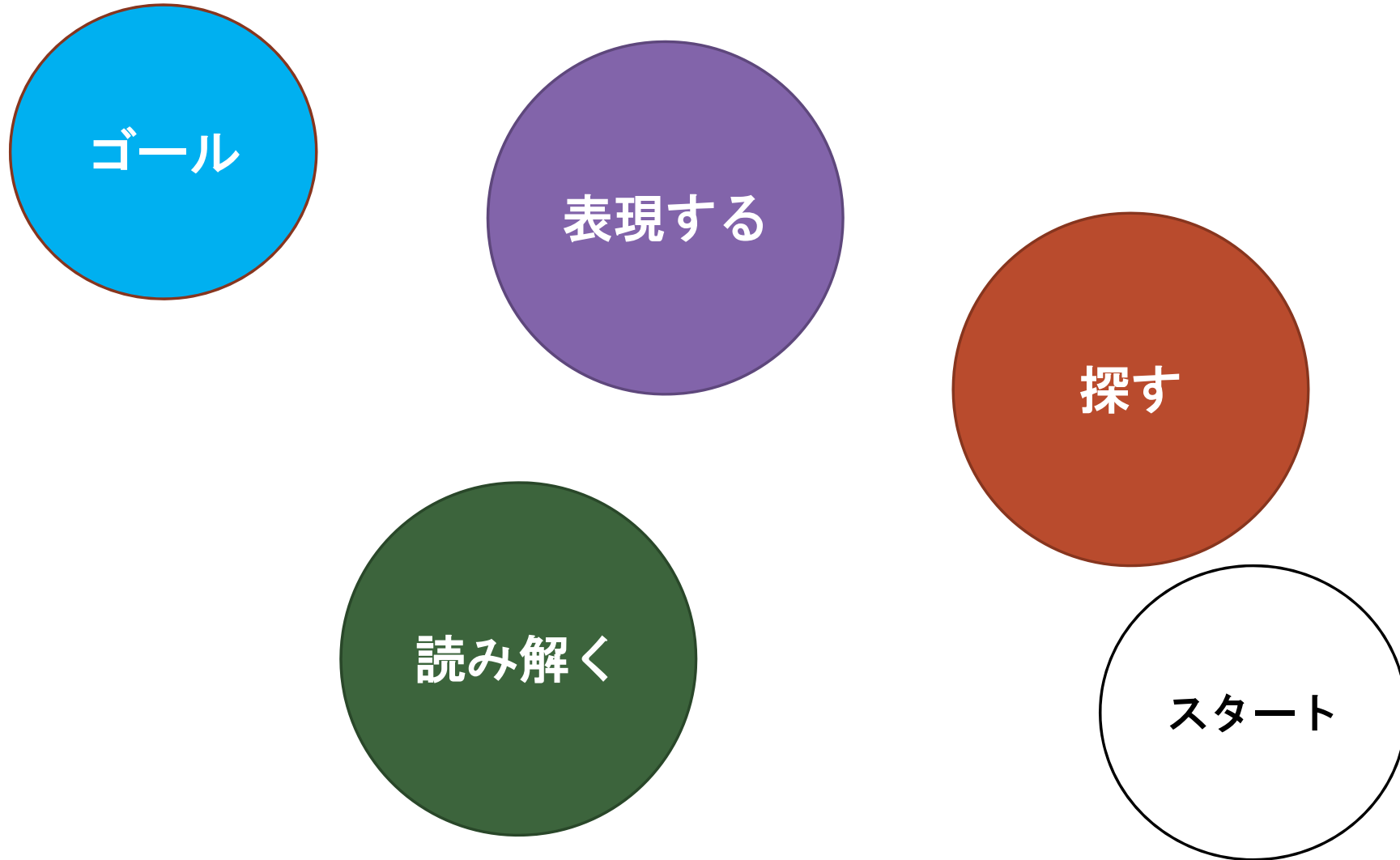
野末 俊比古：情報リテラシー教育と大学図書館--「利用教育」から「指導サービス」へ。図書館雑誌，102(11)，762-765，2008

- 情報の探索・収集
- 情報の整理・分析
- 情報の表現・発信

概念図：情報リテラシー能力獲得 過程



概念図：情報リテラシー能力獲得 過程



使用例

レポー
ト・論文
作成

引用文献
リスト作
成

効果的な
引用

アウトラ
イン作成

OPAC検
索

CiNii
検索

ILL依頼

テーマ選
択

資料の取
捨選択

グラフ
作成

スタート

応用

- 学生に必要なスキルを体系化し、
通年あるいは学部在学中に利用できるマッ
プを提示。
- 迷った時に立ち戻るための地図として活用。
- 学生個人がウェブ上でマップを管理。

情報リテラシー基準にそったプログラム立案

2014.3

(参考) 高等教育における活用体系表

この体系表は、「高等教育のための情報リテラシー基準」を大学教育の場で活用するための参考として、大学図書館を中心とした実践例として作成した。
 学生がセルフチェックに活用し、また、教員が評価に使うことを考慮し、初級からステップアップしながら最終的な到達目標である上級を目指す構成としている。

フェーズ	初級： 与えられたテーマ・情報源をもとにレポートを作成できる	中級： 与えられた課題について自らテーマを設定し、先行事例を踏まえた上で自らの意見を含んだレポートの作成、発表ができる	上級： 自ら調査・研究テーマを設定し、学術的な論文の作成、発表ができる
1. 情報ニーズ・課題を認識する 1.1 自分が取り組むべき課題として正しく認識する 1.2 課題に対処するために必要となる情報を認識する 1.3 現時点で持っている情報を認識する	<input type="checkbox"/> 課題に意欲的に取り組むことができる <input type="checkbox"/> レポートの問題文の意図を正しく認識できる	<input type="checkbox"/> 与えられた課題に沿ったテーマを絞り込むことができる <input type="checkbox"/> 自ら設定したテーマについて問いを設定できる <input type="checkbox"/> 自分が設定したテーマについて他の人に説明できる	<input type="checkbox"/> 自ら調査・研究テーマを設定し、仮説を立てられる <input type="checkbox"/> 課題解決のために不足している知識や情報を認識できる
2. 情報の適切・効率的な探索を計画する 2.1 情報がどのように生成し、流通するかを理解する 2.2 一般的に得られる情報の種類や特徴を理解する 2.3 求める情報へのアクセスの方法及び入手を助けるサービスを理解する 2.4 情報を探索する際の適法性、社会倫理への適合及び経済的合理性を理解する	<input type="checkbox"/> 学術情報の基本的な流れを知っている <input type="checkbox"/> 一般図書・参考図書・雑誌・新聞・視聴覚メディア・インターネット等、情報・メディアの種類や特性を知っている <input type="checkbox"/> 貸出・予約・レファレンス等、文献入手に関わる図書館サービスを知っている <input type="checkbox"/> 著作権法第31条(図書館等における複製)を理解し遵守できる	<input type="checkbox"/> 調査テーマに関する先行事例の調査方法を知っている <input type="checkbox"/> 課題の解決に適した信頼性の高い情報源を推測できる <input type="checkbox"/> ひとつの事柄に対し、複数の情報源を確認する意識がある <input type="checkbox"/> 各種施設(博物館・公共図書館・文書館・美術館・行政機関等)の特徴を知っている <input type="checkbox"/> 著作権法・個人情報保護法など、情報を探索する際の適法性に留意できる	<input type="checkbox"/> 専門分野における学術情報の流れを理解している <input type="checkbox"/> 信頼性の高い情報を選択できる <input type="checkbox"/> 計画の実施においてプロセスのモニタリングができる
3. 情報を適切・効率的に入手する 3.1 図書館や情報入手を手助けするサービスを効果的に利用する 3.2 情報の種類に応じて、適切なアクセス手法や検索ツールを用いる 3.3 必要な情報を探ることができる検索スキルを身に付ける 3.4 情報を正しく読み、情報ニーズに照らし合わせて取捨選択する	<input type="checkbox"/> 所属機関の図書館の蔵書検索ツール(OPAC)を利用し、指定された資料を検索できる <input type="checkbox"/> 図書館における資料の配置・分類法を理解している <input type="checkbox"/> 与えられた情報源を検索できる	<input type="checkbox"/> 課題に応じてメディア(図書・雑誌・新聞・視聴覚メディア・インターネット・人的情報源)を選択し、情報を収集できる <input type="checkbox"/> 文献検索の検索語(同義語・上位語・下位語)を工夫できる <input type="checkbox"/> ブール演算子(AND・OR・NOT)を理解できる <input type="checkbox"/> データベースを活用し、必要な情報・資料を検索できる <input type="checkbox"/> 情報の出所や信頼性を点検・確認できる <input type="checkbox"/> 学術的な文献の構成に関する知識をもとに、情報ニーズに合う文献を効率的に選択できる <input type="checkbox"/> 参考引用文献リストを適切に読み取り、調査に活用できる	<input type="checkbox"/> 先行研究論文等の引用文献リストを活かし、計画的に探索できる <input type="checkbox"/> 望ましい情報が得られなかった場合、行った検索プロセスを評価し、データベース・検索式・キーワードなどを見直すことができる <input type="checkbox"/> 他機関の図書館から文献を取り寄せるなど、図書館のサービスを必要に応じて利用できる。
4. 収集した情報を評価・分析し、整理・組織する 4.1 収集した情報やデータを信頼性、関連性、正確性などの点から評価・分析する 4.2 情報を適切に整理、記述し、活用できるように組織することができる	<input type="checkbox"/> 学術的な文章の要旨をまとめることができる <input type="checkbox"/> 情報を分類できる	<input type="checkbox"/> 入手した情報の正確性と、調査テーマとの関連性を評価できる <input type="checkbox"/> 過去の情報と新たに入手した情報を比較できる <input type="checkbox"/> 資料リストを作成し、管理できる	<input type="checkbox"/> 批判的思考をもとに、入手した情報の論理性・合理性・正確性・関連性を評価・分析できる <input type="checkbox"/> 文献管理ツールを使用して、収集した文献情報を活用できるように組織化できる
5. 知識体系を再構築する 5.1 情報を自らの知識体系に照らし合わせ、批判的に組み込む 5.2 新たな情報を組み込むことで、自らの知識体系を再構築する	<input type="checkbox"/> 入手した情報、データ及び意見を比較、分類して、自らの考えと類似する点や違う点を説明できる	<input type="checkbox"/> 複数の情報、データ及び意見を比較して、自らの考えとして最も相対的に客観的に選択できる。	<input type="checkbox"/> 得た情報、データ及び意見を一般的な概念として構成し、それを新たに適用することで、知識として再構成できる。
6. 情報を創造的に活用し、発信する 6.1 情報を利用する上で必要な法的及び社会倫理的な知識を持つ 6.2 情報を発信する対象やコミュニティに相応しい形式を理解する 6.3 情報を発信するために必要なスキルを持つ	<input type="checkbox"/> レポートの読み手意識を持つ <input type="checkbox"/> 読み手を意識する <input type="checkbox"/> 正しい引用の仕方を持つ		

<参考資料>

■「高等教育のための情報リテラシー基準 ドラフト 2.3」
 (国立大学図書館協会 教育学習支援検討特別委員会,
 2014年3月付) ※活用体系表の実例が収録。



ご静聴ありがとうございました。